

1. 次の行列 X, Y の逆行列をそれぞれ求めよ. (a は複素数とし空欄の成分は 0 とする.)

$$X = \begin{pmatrix} 1 & a & & \\ & 1 & a & \\ & & 1 & a \\ & & & 1 \end{pmatrix}, \quad Y = \begin{pmatrix} 1 & a & & \\ & 1 & a & \\ & & 1 & a \\ a & & & 1 \end{pmatrix}.$$

2. k を実数として

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 3 \\ 1 & -1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & k & 1 \end{pmatrix}$$

とする. \mathbb{R}^4 から \mathbb{R}^3 への線形写像 f を $f(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ で定める.

(1) f の核 $V = \{\mathbf{x} \in \mathbb{R}^4 \mid f(\mathbf{x}) = \mathbf{0}\}$ の次元を求めよ.

(2) f の像 $W = \{f(\mathbf{x}) \mid \mathbf{x} \in \mathbb{R}^4\}$ の次元を求めよ.

3. $\{a_n\}_{n=1}^{\infty}$ を正数からなる数列で, 不等式

$$\frac{a_n}{a_{n+1}} \geq \left(1 + \frac{1}{n}\right)^2 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

が成立するものとする. この時, 以下の問いに答えよ.

(1) 全ての自然数 n について $a_n \leq \frac{a_1}{n^2}$ となることを示せ.

(2) 級数 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$ が収束することを示せ.

4. \mathbb{R}^2 上で定義された関数 $f(x, y) = (x + \cos y)e^{-x}$ の極値を全て求め, 極大・極小を判定せよ.

5. 常微分方程式

$$y'' - y = e^{-x}$$

を初期条件 $y(0) = a, y'(0) = b$ のもとで解け. また $x \geq 0$ で有界な解が存在するための

a と b の必要十分条件を求めよ. (ここで $y' = \frac{dy}{dx}, y'' = \frac{d^2y}{dx^2}$ である.)

6. 次の重積分を計算せよ.

(1) $\iint_D (x+y)^2 \sin(\pi|x-y|) dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; |x+y| \leq 1, |x-y| \leq 1\}.$

(2) $\iint_D \log(1+x^2+y^2) dx dy, \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x+y \geq 0, x^2+y^2 \leq 1\}.$